

平成 22 年度 検討内容・スケジュール（案）

以下に、平成 22 年度の自然地域トイレし尿処理技術ワーキンググループのスケジュール案を示す。

時期	内容	
	ワーキンググループ	全体スケジュール
平成 22 年 5 月		14 日～28 日実証機関公募
6 月	WG1（実証機関の選定、平成 22 年度検討内容・スケジュール）	【中旬 技術募集（実証機関による公募）】
7 月	下旬 WG2（実証技術の検討）	【上旬 技術実証委員会（実証機関による開催）】
8 月		【実証試験の開始】
9 月		
10 月	WG3	
11 月	実証試験現場視察	
12 月	技術セミナーの開催（福岡）	
平成 23 年 1 月	WG4	
2 月		
3 月	上旬 WG5（試験結果報告書の確認、試験要領の改訂）	

平成 22 年度自然地域トイレし尿処理技術分野の展開について

平成 20 年度より山岳トイレ技術分野の課題に対して、制度面・技術面の両面から以下の 8 項目を主なテーマとして設定し、WG において優先順位をつけ検討を進めてきた。

平成 20 年度及び 21 年度の成果と今後の課題について以下のとおり整理する。また、本事業の趣旨より、事業化についても合わせて検討が必要であると考えられる。

なお、本検討については、第 5 回 WG において検討を行った。

		テーマ	成果	課題	
				項目	内容
技術面	1	選定方法の確立 (未実証技術の実証、データベースの確立)	⇒平成 20 年度～21 年度において、新規 4 技術、継続 2 技術の、計 6 技術を実証 (総計 17 技術) ⇒データベースとして、電力や水の必要性などの視点から分類した情報の配信 (予定)	新規実証試験の実施 事例データベースの機能向上 選定のためのガイドブックの検討	新規技術の実証が必要 利用者の使い勝手や検索性を考慮して改善 ユーザーが技術を選定するための手引きを作成
	2	技術の向上 (技術面での評価指標の検討)	⇒平成 20 年度において、経年実証試験の試験方法の作成 平成 21 年度において 1 件の予備調査を実施 平成 22 年度において本調査 1 件が予定	経年実証試験の実施	新規経年技術の実証が必要
				実証対象技術範囲の検討	し尿分離型等の処理水浸透技術の取扱いについて検討。
	3	維持管理手法の確立(メンテナンスマニュアルの整備)	⇒維持管理要領書の確認項目を設定し、実証試験要領に反映	維持管理要領書の審査基準の充実	維持管理要領書の審査基準の充実の検討
4	自然エネルギー技術との連携	—	トイレ技術に係る自然エネルギー技術実証手法の検討	自然エネルギー技術と組み合わせたさいの実証視点の検討	

		テーマ	成果	課題	
				項目	内容
制度面	5	山岳地以外での展開 (山麓・海浜・離島等での整備ニーズ把握、未実証地域での実証)	⇒全国の都道府県市区町村にアンケート調査を実施、潜在的ニーズは存在しているものの、予算面、情報不足、管理面が課題 ⇒湖畔・山麓での実証事例として、奥多摩にて実施(平成21年度) ⇒分野名称を「自然地域トイレし尿処理技術」に変更	新規実証試験に 合わせて行う	新規技術の発掘に 合わせ、北海道や西 日本などの実証事 例のない地域での 実証を検討 海浜・離島地域での 実証事例も上記に 合わせて検討
	6	事業化方針の作成 (実施体制の効率化、試験方法の簡便化)	一(経年実証試験の実施手法検討に合わせて実施)	実施体制の効 率化	環境省事業と運営 機関の実施すべき 内容を分けて検討
	7	情報共有システムの確立(山岳トイレネットワークの確立、研修会・シンポジウム開催)	⇒メールマガジンの開設、配信 ⇒山岳トイレ技術セミナーを開催(平成20年度;東京、平成21年度;仙台市)(仙台市にて開催したことで、東北地域での関心が高まった) ⇒技術展示会(NEW環境展大阪、世界環境共生都市博)への出展	山岳トイレ技術 セミナーの開催	開催の定例化の検 討

(平成21年度 実証運営機関業務報告書より)